

TED プレゼンを利用して音読活動へ

田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)

キーワード： 動画，字幕，TED，チャンク，トーキーズ

ワークショップの概要

TED-Talks のプレゼンビデオに字幕を同期させ、3秒前後のフレーズ(ここでは字幕)ごとに音映像を提示する方法を学び、チャンク音読やチャンクシャドーイングの手法を習得する。



はじめに：字幕の変遷と新しい役割

字幕の役割は、音映像の説明である。

その歴史は数百年以上さかのぼるとされる。

メディア(記録媒体)の変遷について字幕の様子も時代ごとにさまざまな変容を見せる。

無声映画からトーキーに移って字幕が不要になるかに思われたが、テレビ、パソコン、スマートフォンと媒体が進むにつれ、逆に字幕は進化し続けているようだ。

最近のテレビではニュースよりバラエティ番組の方が巧みに文字を多用している。

文字は時空を超えた記録と言う役割から、今や日常生活での意思疎通(コミュニケーション)の必須道具へと役割を進化させてきた。

TED (TED Conference 1984年)によるプレゼンビデオのウェブ公開(TED-Talks 2006年)から、ボランティアによる字幕提供(TED Open Translation Project 2009年)へと進んだのは歴史の必然だろう。

字幕からチャンク音映像を提示する

トーキーズが提案するのは、TED-Talksを語学学習に活用するための新しい表現空間だ。

それは **字幕から音映像を出す** と言う逆転の発想から始まった。

[1] 鳥獣戯画 (12世紀後半)



僧の口から出るのはお経か？

[2] 無声映画のチャップリン



音声や場面転換の説明に使われた

[3] 字幕が操作キーとなった



字幕から音映像を再生

解題：編集なし、D&D だけで 自然素材を教材に変身

TED-Talks サイトには既に 2 千本を越える魅力たっぷりのプレゼン映像がアップされている。それらには専用の英語字幕が公開されていて、動画に字幕を提示できるようになっている。さらに、日本語字幕も準備されていて、英語字幕と切り替えながら学習することができる。Talkies は TED を教材に変身させる。

TED を使った Talkies の講習会の要点は以下の 3 つである。

(1) フレーズ再生：字幕から音声を再生してチャンク音読 ⇒ D

授業や学習で「この音声をもう一度聞かせたい」とか「このフレーズで反復音読したい」ときに、ワンクリックで音声がすぐ提示される。

(2) パラグラフ再生：ワンクリックで「フレーズ ⇄ 文 ⇄ 節」切替 ⇒ E

フレーズより大きな文や節に焦点をあてたいことがある。数フレーズがないで、文や節での音声訓練が 2 クリックで可能となる。

(3) インストール自在：好みの TED プrezentで授業 ⇒ I

ライブラリにないプレゼンでも、その場ですぐに組み込む。特別の技術も知識も要らない。これにより 2 千近くのプレゼンから、学習目的に合ったトピックを探すことが楽しくなるはずだ。

その他、反復訓練に最適なキータッチ、シャドーイング、日英クローズテスト、一斉授業用提示設定、初級者にうれしい話速調整など基本操作を学ぶ。

ブラウザとアクセス

ブラウザはグーグル・クロム を推奨。他では動きが悪いときもある。トキーズへのアクセスは以下のいずれかによる。

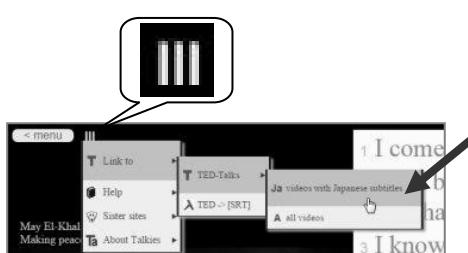
- (a) URL: <http://www.mintap.com/talkies/> を打ち込む。
- (b) グーグル、ヤフーなどで<talkies TED>または<トキーズ>を検索。



操作マップとマニュアル

操作マップとマニュアル

アフォーダンスと携帯性、一覧性を重視した設計理念の下で、「操作できることは目に見える」、「必要な情報はこのサイトだけで手に入る」ように仕上げている。操作マップ（次ページ）と、マニュアルにアクセスするオプションメニュー（下図）を使いながら講習をすすめる。



オプションメニュー マップ (2015.10)

1	- 関連サイト
2	- TED-Talks
3	- 日本語字幕のあるビデオ
4	- すべてのビデオ
5	- テッド・字幕
6	- 案内
7	- 動作環境
8	- 操作マップ
9	- 学習法
10	- 基本的操作（画面）
11	- 基本的操作（音声）
12	- 字幕の教育利用の注意点
13	- 動画の追加
14	- 姉妹サイト
15	- セリーフ
16	- ミント音声教育研究所
17	- ニュース
18	- 研究関連ニュース
19	- 設定
20	- 言語
21	- 第一言語の文字色
22	- トキーズについて
23	- 問い合わせ
	- プロパティ
	- バージョン

学習目的に合わせた 提示法を 選ぼう

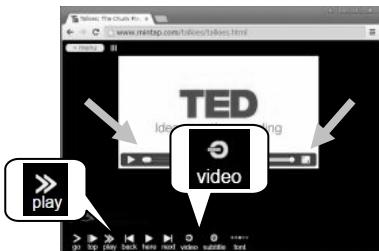
TED で何を学ばせますか？

Talkies で何がしたいですか？

何がしたいのかをはっきりさせると、何をすればよいかがわかつてきます。

学習目的に見合った提示法を選ぶことが大切です。

A 映画を字幕なしで見るように原語の臨場感を得たい： Full Screen



プレゼン会場にいるような臨場感に浸りたいときは字幕をすべて消し、ブラウザを全画面表示（クロムでは F11）。タイムバーをゼロ位置にもどして play ボタンを押す。スクリーン投影を推奨。

B プrezenを通して鑑賞したい： Skip Applauses

はじめは細かいことを気にしない。言葉を聞くのではなくプレゼンの流れを聞くことにつとめる。物語の筋に集中しするためには、音声・映像・英文・和文のすべてを開示することをお勧めする。そうすることで生徒は欲しい情報に素早くアクセスできる。言語的ストレスを軽くすることで、内容理解に集中できる。



全提示（初期設定）で通して鑑賞する。

再生は top ボタンを使う。
TED のテーマ映像を飛ばし、
すぐにプレゼンに入れる。

C 早口なのでゆっくり聞きたい： Change Speech Rate

ゆっくり聞きたいというのが人情。そこでゆっくりを経験してもらった後で、元に戻したり速めにすると「速い方がいい」という生徒も出てくることだろう。



D 音読活動がしたい： Speak Together Chunk by Chunk

3秒前後の模範音声を反復再生しながら、後に続けたり、上に被せたりしながら声を出す訓練。反復操作は here ボタンか Enter キーで行う。慣れてきたら、文単位に伸ばす⇒**E**。

E キーセンテンスにフォーカスしたい： from Phrase to Sentence

TED字幕は平均 3 ± 1 秒で、大半は文の一部。字幕より大きなまとまりである文や節を学習の対象にしたいことがある。これまででは字幕ファイル編集という荒業が必要だったが、Talkies では2クリックで複数の字幕を統合できる。



まとめたい字幕範囲の先頭 **1** と末尾番号 **2** をマウスでクリック。統合された字幕には青色の縦線が入る。top ボタンか slash キーで統合箇所だけを再生。B, N, H, T キーが便利。

**F 音にフォーカスしたい： 英語 Cloze Test or All Off**

字幕（全部か一部）を消してしまおう。聞きながら「なにこれ？」と思ったらすぐに音を文字で確認するのが大切。音の位置をマウスでポイントすると単語が現れる。

G 意味にフォーカスしたい： 日本語 Cloze Test

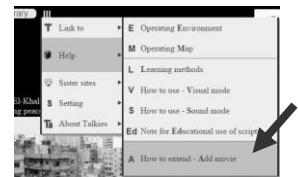
見聞きしている音映像の理解度を手軽にチェックしたいとの要望を形にした日本語版 Cloze Test。かな以外が伏字になる。日本語力も問われそうなくイズになっている。

H 声を出すことにフォーカスしたい： Shadowing / Hide & Play To Speak

字幕をポイントすると、字幕が消えて再生が始まる。力ある音声を出すには文字を見ないで、心の中の意味を見る。意味につながる音声の自動化をめざす。

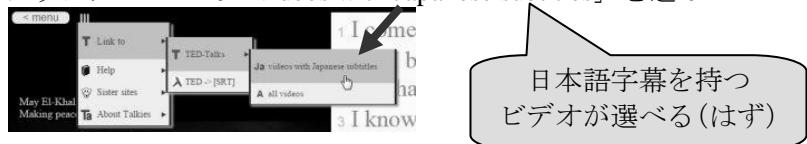
I ライブラリにないTEDビデオを使いたい: Download & Drop

目的の動画ファイルと字幕ファイルをダウンロードした後、まとめてTalkiesにD&Dする。これだけでTEDを教材にできる。Helpから開く案内も参考に ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

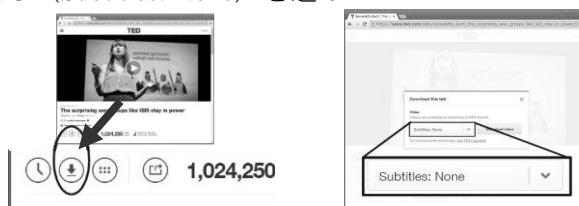


(1) 動画(.mp4)をダウンロード

- 1: ポップアップメニューで「videos with Japanese subtitles」を選ぶ

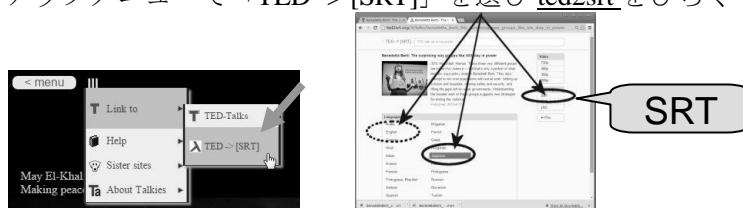


- 2: 使いたい動画のサイトをひらく
- 3: 動画をダウンロード
- 4: 字幕なし(Subtitles: None)を選ぶ



(2) 字幕(.srt)をダウンロード

- 1: ポップアップメニューで「TED->[SRT]」を選びted2srtをひらく



- 2: 上段の入力欄に先のTEDのURLを貼り付け、目的のページをひらく
- 3: 英語Englishと日本語Japaneseの字幕を別々にダウンロードする

(3) 動画と字幕をトーキーズにインストール

- 1: トーキーズのページに動画と字幕ファイルをまとめてD&Dする
- 2: playかtopボタンで再生する

あとがき TED字幕の特徴と教育上の留意点については、同日の研究発表「TED-Talksでチャンク音読をする方法と、TED字幕の教育的妥当性について」を参照。TEDをもっと使いこなすための課題と対策については、次のページにまとめた。シンポでご意見を頂戴したい。

謝辞 東淳一先生の発表（2015LET全国大会）に触発されTalkiesを開発した。

TEDを語学教育で使いこなすための課題と対策

理解補助の字幕から、クリックでチャンク提示する字幕へ — TED on Talkies を稔り多くするために —

英語学習者にとって TED-Talks は自然素材（Authentic Materials）である。自然素材とは、学習を目的として作られたもの（教科書や参考書）ではない著作物のこと、映画やニュースや文学作品などだ。

トーキーズは、自然素材としての TED-Talks を英語教材に仕立てる仕掛けである。動画と字幕ファイルをトーキーズに D&D するだけで、字幕切替、フォント調整、頭出し、チャンク音読、シャドーイング、クローズテストなどができる。

TED字幕で注意することと 今後の課題

TED-Talks を英語学習に積極的に活用する仕組みをトーキーズとして公開したのは今年（2015）9月。何人かの先生方に授業で使っていただいているが、課題が浮き彫りになってきた。

課題1：作品によっては、字幕と音映像のズレが目立つので、改善してほしい。

詳しくはサイト「TED字幕で注意すること」にアップしている。

URL：http://www.mintap.com/talkies/note_ted_srt.html

課題2：授業目的と生徒レベルにあったプレゼンを、手早く探せたらいい。

TEDを語学教育で使いこなすための解決策と提案

TED字幕は世界中のボランティアによる奉仕活動の成果である。感謝している。しかし、まさか「字幕をクリックして音映像を再生する」トーキーズのような使われ方をするとは、露ほども考えたことはないはずだ。自然素材としての TED を教材に仕上げるには、3方面の解決策が考えられる。

解決策1-1：トーキーズのライブラリには、同期を取ってからアップする。

解決策1-2：利用者が字幕を再編集できるトーキーズ（プロ版）を開発する。

解決策1-3：字幕製作さんにトーキーズ（プロ版）で正確な字幕を作ってもらう。

TED-Talks のサイトではプレゼンをいくつかのジャンルに分けています。教材を選ぶ側としてはさらに学年別レベル、話者の言語国籍などがあると助かる。こうしたことは利用者側（英語指導者・教員・組織）が準備することが筋だ。

まずは、先行的な利用者の経験知を持ち寄って情報を共有することから始めるのが無理がないだろう。次第に大きなデータベースにしていくようなコミュニティー・サイトがあるとよい。

今回の LET 企画をきっかけに come together for a better world のようなコミュニティーができて、ideas worth spread (TED) という製作者側の思いを活かせるとうれしい。